

会社名 株式会社オプト  
 代表者名 代表取締役社長 鉢嶺 登  
 (登録銘柄コード 2389)  
 (URL <http://www.opt.ne.jp/>)  
 問合せ先 取締役 小林 正樹  
 電話 03-5561-6434

## 平成16年12月期 第1四半期業績等の概況(非連結)

### 第1四半期業績等の概況作成に係る事項

前年同四半期の数値につきましては、四半期決算を実施しておりませんので開示を省略しております。  
 当第1四半期における法人税等の計上基準は法定実効税率をベースとした見積実効税率により計算しております。

### 1.業績

#### (1)業績の概要

(単位：百万円)

	平成16年12月期 第1四半期 自平成16年1月1日 至平成16年3月31日		前年度比	平成15年12月期 第1四半期 自平成15年1月1日 至平成15年3月31日		平成15年12月期 通期(参考) 自平成15年1月1日 至平成15年12月31日	
	金額	構成比		金額	構成比	金額	構成比
売上高	1,770	100.0%	-	-	4,339	100.0%	
営業利益	132	7.5%	-	-	297	6.9%	
経常利益	107	6.1%	-	-	275	6.4%	
当期純利益	62	3.5%	-	-	156	3.6%	

#### (2)業績の予想

平成16年12月期 業績予想(非連結)の修正等

##### (1)中間期

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	2,414	95	52
今回修正(B)	3,344	180	99
増減額(B-A)	929	84	46
増減率	38.5%	88.3%	88.3%

##### (2)修正理由

売上高について、検索リスティング広告売上の急激な拡大等により、今期第1四半期(平成16年1月1日～平成16年3月31日)の実績は、主力のアド事業を中心に、前年同期比988百万円(同126.7%)増と好調に推移しました。第2四半期においても拡大するインターネット広告市場を確実に捕捉することを想定し、今期上期の売上高見通しは3,344百万円と前回予想比929百万円(同38.5%)の増加となる見込みであります。

経常利益につきましては、拡大するインターネット広告市場を確実に捕捉すべく、当初計画を大きく上回る要員増強を行うことにより利益率は低下しながらも、180百万円(前回予想比84百万円の増加)となる見込みであります。

中間純利益につきましては、上記の理由により、99百万円(前回予想比46百万円の増加)となる見込みであります。

(3)通期

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	5,199	296	162
今回修正(B)	6,645	310	170
増減額(B-A)	1,445	14	8
増減率	27.8%	4.9%	4.9%

(4)修正理由

売上高について、インターネット広告市場の拡大および要員増強による市場の捕捉に注力し、前回予想比では1,445百万円(同27.8%)増の6,645百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、売上高の大きな拡大により売上総利益が拡大するものの、拡大するインターネット広告市場を早急に捕捉すべく、積極的な要員増強を行うこと等により販売管理費もそれ以上に増加すると想定しており、前回予想を14百万円上回る(前回予想比：4.9%の増加)310百万円となる見込みであります。

当期純利益につきましては、上記の理由により、170百万円(前回予想比8百万円の増加)となる見込みであります。

## 2.業績の状況

### (1)第1四半期(自平成16年1月1日 至平成16年3月31日)の業績の概況

当第1四半期(平成16年1月1日～平成16年3月31日)における我が国経済は、企業収益の改善や株式市場の活況、失業率の改善など、景気回復の傾向が徐々に明らかになってまいりました。当社が属するインターネット業界においても、ブロードバンド接続の普及による利用者・利用時間の拡大を土台に、eコマースやインターネット広告などインターネットサービス事業の活況ぶりが日々伝えられております。

このような環境下、当社は営業職を中心に人員の増強を図り、拡大かつ多様化する顧客ニーズへの対応に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期における業績は、売上高1,770百万円、営業利益132百万円、経常利益107百万円、純利益62百万円となりました。

### (2)事業の種類別の概況

各事業分野における活動状況は以下のとおりです。

#### <アド事業分野>

当事業分野においては、インターネット広告代理業と、マーケットプレイス型サイト(比較検討サイト)の運営を行っております。

当第1四半期においては、バナー広告などの従来型広告に加え検索リスティング型広告が急速に台頭するなど顧客企業の出稿意欲の高まりが見られました。当社は主として人員面の補強により、急成長する市場を確実に捕捉することに注力しました。

この結果、当第1四半期における当事業分野の売上高は1,645百万円となりました。

#### <ASP事業分野>

当事業分野においては、当社独自のeマーケティング効果測定システムADPLAN(アドプラン)の提供を行っております。

当第1四半期においては、急拡大を続ける検索リスティング広告とADPLANとのパッケージ商品を中心に、利用企業数の拡大に注力いたしました。

この結果、当第1四半期における当事業分野の売上高は43百万円となりました。

#### <ソリューション事業分野>

当事業分野においては、クリエイティブ、サイト開発、システム開発、リサーチ受託など、eマーケティングを総合的に支援するための周辺サービスを提供しております。

当第1四半期においてはインターネット広告の取扱増加に伴い、特にクリエイティブの受注に注力しました。

この結果、当第1四半期における当事業分野の売上高は81百万円となりました。

### (3)財政状態

当第1四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の期末残高は前期末と比較して776百万円増加(前期末比142.2%増加)し、1,322百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは88百万円となりました。これは、主として売上の増加によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られたキャッシュ・フローは16百万円となりました。これは、主としてサーバー等設備購入及び新規事業投資によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られたキャッシュ・フローは705百万円となりました。これは、主として本年2月の新株発行増資によるものであります。

(添付資料)

1.財務諸表

(1)四半期貸借対照表

(単位：千円)

	平成16年12月期 第1四半期 平成16年3月31日現在		平成15年12月期 第1四半期 平成15年3月31日現在		前事業年度 通期(参考) 平成15年12月31日現在	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%		%
・流動資産	2,615,283	95.6	-	-	1,627,225	94.0
1.現金及び預金	1,333,086		-	-	555,941	
2.受取手形	27,444		-	-	37,438	
3.売掛金	1,205,940		-	-	988,523	
4.その他流動資産	48,811		-	-	45,322	
・固定資産	119,624	4.4	-	-	104,054	6.0
1.有形固定資産	13,881		-	-	13,277	
2.無形固定資産	3,524		-	-	3,798	
3.投資その他の資産	102,219		-	-	86,979	
資産合計	2,734,909	100.0	-	-	1,731,280	100.0
(負債の部)						
・流動負債	1,414,660	51.7	-	-	1,178,547	68.1
1.買掛金	1,209,733		-	-	910,229	
2.賞与引当金	24,852		-	-	-	
3.その他	180,075		-	-	268,318	
負債合計	1,414,660	51.7	-	-	1,178,547	68.1
(資本の部)						
・資本金	452,400	16.6	-	-	218,650	12.6
・資本剰余金						
1.資本準備金	663,900		-	-	192,650	
資本剰余金合計	663,900	24.3	-	-	192,650	11.1
・利益剰余金						
1.当期末処分利益	203,492		-	-	141,153	
利益剰余金合計	203,492	7.4	-	-	141,153	8.2
・その他有価証券評価差額金	456	0.0	-	-	278	0.0
資本合計	1,320,248	48.3	-	-	552,732	31.9
負債及び資本合計	2,734,909	100.0	-	-	1,731,280	100.0

## (2)四半期損益計算書

(単位：千円)

	平成16年12月期 第1四半期 自平成16年1月1日 至平成16年3月31日		平成15年12月期 第1四半期 自平成15年1月1日 至平成15年3月31日		前事業年度 通期(参考) 自平成15年1月1日 至平成15年12月31日	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
		%		%		%
.売上高	1,770,337	100.0	-	-	4,339,921	100.0
.売上原価	1,364,333	77.1	-	-	3,308,208	76.2
売上総利益	406,004	22.9	-	-	1,031,713	23.8
.販売費及び一般管理費	273,834	15.5	-	-	734,670	16.9
営業利益	132,169	7.5	-	-	297,043	6.9
.営業外収益	43	0.0	-	-	128	0.0
.営業外費用	24,742	1.4	-	-	21,226	0.5
経常利益	107,471	6.1	-	-	275,944	6.4
税引前当期純利益	107,471	6.1	-	-	275,944	6.4
法人税、住民税及び事業税	45,131	2.5	-	-	119,171	2.8
当期純利益	62,339	3.5	-	-	156,773	3.6
前期繰越利益	141,153		-	-	15,619	
当期末処分利益	203,492		-	-	141,153	

## (3)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	平成16年12月期 第1四半期 自平成16年1月1日 至平成16年3月31日	平成15年12月期 第1四半期 自平成15年1月1日 至平成15年3月31日	前事業年度 通期(参考) 自平成15年1月1日 至平成15年12月31日
	金額	金額	金額
.営業活動によるキャッシュ・フロー	88,342	-	33,424
.投資活動によるキャッシュ・フロー	16,650	-	1,059
.財務活動によるキャッシュ・フロー	705,000	-	26,533
.現金及び現金同等物の増加額	776,692	-	61,016
.現金及び現金同等物の期首残高	546,079	-	485,062
.現金及び現金同等物の期末残高	1,322,771	-	546,079